

74新破天荒



令和四年度より
創刊
第1号
第4号

時はきた
不安のない自信は危うい
大いに不安を感じよう
腹をくくって闘おう

令和七年。新年明けましておめでとう。いよいよ姫路南高等学校七十四回生の、高校生としての

本当の終わりの始まり

です。
充実した二週間となりましたか。テレビなど見ている暇はなかったでしょうが、年末年始にかけてはたくさんの方の真剣勝負を目にしました。駅伝しかり、バスケットボール、ラグビー、サッカー、バレーボール等・・・兵庫を代表する高校生だけでなく、不安、緊張、決意、覚悟をした「表情」は大変格好よく、結果を超えた高校生のエネルギーを改めて感じました。

ところで、皆さんは今日の三学期始業式をどんな風に迎えているでしょう。不安は「悪、弱、隠」というものではないことを知ってください。

さて、不安には二種類あると思います。一つは、「やらずに」感じる不安

です。これは、みんなが当たり前に理解できるものです。もう一つは、

「やればやるほど」膨らむ不安

です。

今のみんなの多くは、「こちらの方だとは思いますが。この不安こそが、これからの将来に活かされています。まず。

「できない」と思う不安を前面に出しては、何も挑戦できなくなります。「できるかできないか」の先に、手に入れることができるものがあります。

二学期末を前に、職員室に面している黒板にした落書きに、

「できる できない」

ではなく、

「やる やらなく」

と書きました。

決めるのは「目標」であって、「結果」ではない。結果は、必ずしも決めた目標通りになることもない。ただ、自分が「最初に決めた」目標通りにならなくても、それを目指す中で、自分を「生かす」ことが見えるようになります。そのことは絶対に心の隅に必ず留めておいてください。

そのうえで、いまは自分の「目標」に近付くための第一歩に向けてやるべきこと(体調管理・冷静な判断・熱い思い・あるものを出し切る)をやり抜いていこう。

国公立大学情報
ばかりでごめんなさい

私学を軽視しているわけではありません。ただ、私学志望者は何があっても「いま」は自分の想いを曲げないですよ。それでいい。攻め切ろう。

今回は、受験会場が本学以外の大学を紹介します。ただし、皆さんにとってチャンスが多いところですよ。

前期

- 小樽商大(商) 仙台
- 室蘭工大(理工) 名古屋
- 山形大(工 除く建築・デザイン) 名古屋
- 富山大(経済、理、工、都市デザイン) 名古屋
- 福井大(工) 京都
- 信州大(繊維) 名古屋
- 香川(創造工・農) 西宮
- 公立千歳科学技大(理工) 大阪
- 公立はこだて未来(シス情報工) 大阪
- 青森公立大(経営経済) 東京
- 秋田県立大(シス科学・生物資源) 名古屋
- 高崎経済大(地域政策・経済) 大阪、岡山
- 前橋工大(工) 名古屋
- 三条市立大(工) 大阪
- 富山県立大(工)・情報工) 名古屋
- 福井県立大(経済・看護福祉・生物資源・海洋生物資源) 大阪

- 島根県立大(国際関係) 広島
- 公立山口東京理科大(工・薬) 神戸、岡山
- 周南公立大(経済経営・情報科学・人間健康) 岡山

- 下関市立大(経済・データサイエンス) 大阪
- 高知工科大(経済・マネジメント、情報データ&イノベーション・シス工・理工) 大阪、岡山
- 北九州市立大(法) 広島
- 福岡県立大(人間社会・看護) 広島
- 宮崎公立大(人文) 大阪
- 名桜大(国際・人間健康) 大阪

中期

- 釧路公立大(経済) 大阪
- 高崎経済大(経済) 大阪、岡山
- 三条市立大(工) 大阪
- 長野大(企業情報・社会福祉・環境ソリューション) 名古屋
- 公立諏訪東京理科大(工) 名古屋
- 公立山口東京理科大(工・薬) 神戸、岡山
- 周南公立大(経済経営・情報科学・人間健康) 岡山
- 下関市立大(経済・データサイエンス) 大阪

後期

- 北見工大(工) 大阪
- 秋田県立大(シス科学・生物資源) 名古屋
- 高崎経済大(地域政策) 大阪、岡山
- 福井県立大(経済・看護福祉・生物資源・海洋生物資源) 大阪

これがすべてではありません。が、今はうっすらと描いてほしいところだけ記載しておきます。

一月の手定

- 八 日(水) 始業式 共通テスト直前注意
- 九 日(木) 午前中授業 一、二年課題考査
- 十三日(月) 成人の日
- 十四日～一七日(火)～(金) 二年生修学旅行
- 十七日(金) 午前中授業(二年)
- 十八～十九日(土)～(日) 共通テスト激励会(四限)

共通テスト
現段階では会場は未定

二十日(月) 共通テスト自己採点

これより三年生午前中授業(①②③④)

二十七日(月) 国立大学志望者三者面談

二十九日(水) 教育相談

三十一日(金) 大掃除・ワックス掛け・学年集会・LHR

個別試験等指導 補習等、追って連絡します

二月の手定

- 二十七日(木) 卒業式予行・各種式典
- 二十八日(金) 卒業式

今月の……の勧め

年	一月	二月	三月	一年最終
一	「無駄」	「諦めない」	「捨てる」	「チャレンジ」
二	「さかのぼる」	「テレビ」	「大空間」	「無」
三	「こだわり」	「信念」	「探る」	「自制する」
四	「勇気を探る」	「悩むこと」	「本気でぶつかること」	「この世界の片隅を大切に」
五	「主観性」	「客観性」	「ルーティーン」	「スマホとの向き合い方」
六	「詩に触れる」	「破壊する」	「想いを再生する」	「夢を目に触れるようにする」
七	「アナログ」	「きっかけ」	「一度諦める」	「失敗の感情で終わらない」
八	「二度諦める」	「失敗の感情で終わらない」		

二一年

- 四月 「思うだけじゃ駄目」
- 五月 「目先の失敗に気付く」
- 六月 「いつか報われる」
- 七月 「いつもと違う努力」
- 一学期末 「してやりたい」
- 九月 「いめんなき」
- 十月 「プリテンド pretend」
- 十一月 「アピール」
- 十二月 「自己満足」
- 二学期末 「景色を広げる」
- 一月 「自分に鞭うつ」

この時期、皆さんの周りの人は、皆さんをより傷つけないように、しかし、頑張る皆さんに対して、「褒める」、「持ち上げる」ことはしても、特に不安を抱えて励ましてほしい場面でも、なかなかむちをうつことを躊躇します。

そんな環境の自分に、「もう一步」とむちうつことができるようになる。自分を「認めたがる」一番手は必ず自分自身です。自分を「認めよう」とするのは、自分が一番不安になった時です。

普段であればそれでよい。でも、勝負がかかっているときには、自分を「認める」ことよりも自分を「励ます」ことです。

「下」を見る暇はない。「前」を見るためにも一番の応援者の自分が、自分に鞭をうってやってほしいと思います。

とある番組「夢叶えたるか」より皆さんへの応援歌

ケセラセラ 今日も唄える
限界? 上等。 やってやろうか。
愛を捨てるほど暇じゃない
いつも All Right All Right
ここを乗り越えたら 楽になるしかない

痛み止めを飲んでも 消えない旨のズキズキが
些細な誰かの優しさで
ちよつと和らいだりするんだよな

負けるな 今日も踏ん張って
固めた殻で 身を守って
また諦める 理由探すけど、

ケセラセラ 今日も唄える
限界、上等。 妬ましさも全部
不幸の矢が 抜けけない日でも
All Right All Right
食いしばってる

年齢は違うし、状況も違うけれども、自分たちの育った学校が、学校名が、三月末を以てなくなる中、学校への想い、自分たちの日々の生活への想いは、同じに違いないと思います。
そんな中で、さあ勝負の一か月です。